

みのりほのか、初海外遠征で中国は広州を侵略。エスパーソングで40万人をみのりほのか色へインストール！中国にも星人(ファン)が増殖中!!その道中記を紹介。



2018年12月26日

に行ったワンマン公演を通し、2019年度バージョンへアップグレードしたみのりほのか。彼女は進化した姿のもと、12月28日 より1月2日

まで中国は広州に渡っていた。みのりほのかにとって初となる海外での公演。目的は、中国に於けるアニメ/ゲーム/コスプレを軸に据えたフェスティバルの草分けであり、中国国内でも最大級と称される広州市で12月30日 1月1日 の3日間行われた祭典「萤火虫」へ出演するため。

ラストァ星人という身を隠し、日本人に成り済ましての渡航。さすが宇宙人?、時間の概念が日本人とは微妙に異なるようで、成田国際空港でのチェックインも搭乗時間ギリギリ…なのは、ご愛嬌。先に香港の空港へ着いたときも、そこからの移動で広州市へ入ったときにも、入国ゲートの監視カメラは、日本人に成りすましたラストァ星人であることを見抜いたのか、手続き中、何度もパスポートの顔と顔認証のカメラとを見比べられては、本当に本人か?と疑われ続けてきた。そこを得意のエスパー能力で乗り切ったところは、アップグレードしたみのりほのかの成せる技。広州市に着いたのが、28日の23時過ぎ。そこから現地スタッフたちとの歓迎会が行われたが、その会場を抜け出し、400日以上途切れることなく続けているSHOWROOM配信を行うところは、ファン想いの彼女らしさ。もちろん、現地にいるときも配信は毎日続けられた。

29日のオフも、主催者チームとの会食や配信用のための買い出しなど、支えてくれる現地の人たちとの交流やファンたちのための時間に費やしていたところは流石だ。その合間を見て、ショッピングモールでクレーンゲームなどの遊びにも興じていたが、ことごとく失敗。彼女の超能力をブロックしてしまう中国の技術力の勝利?それとも、みのりほのか自身の技量の…………。

「萤火虫」初日となった12月30日

のステージでは、いきなり彼女をハプニングが襲いかかった。『わたしは多面体』を歌いだそうとしたが、マイクのトラブルで声が届かず。それでもトラブルさえ我関せず歌い続けた中、マイクをチェンジ。ようやく何時ものみのりほのかのステージに。『もしかしてエスパー』の中、お馴染みスプーン曲げを行ったところ、中国の人たちがその様に驚く場面も。さすがエスパーの力は世界中の人たちを驚愕させるということか。

夜は、会場を変え、広州市内にあるライブハウス超急番へ出演。地元の人たちが殆どを占める会場のように、大半の人たちがみのりほのかのステージへ触れるのが初めての状態。

夜のライブは『宇宙人だ!』からスタート。まさかの地元の人が、彼女と一緒に「宇宙人だ!」と叫び出したのには驚いた。中国にも彼女の音楽のテレパシーはしっかり届いていたようだ…と思ったら、日本から着た遠征組でした。でも、そういうファンの力がフロアーの空気を変えてゆくことを、その後知ることになる。

『もしかしてエスパー』でも、フロアー中から「ほーのか!」コールが飛び交えば、お馴染みスパーンを曲げたとたん、会場のあちらこちらから「オーッ!!」と大きな歓声が。まさにフロアー中へ沸き上がるパワーが漲っていた。「守ってあげたいの」「俺もー!!」の掛け合いなど、何時しか静かに見ていた観客たちも一緒に騒ぎだしていた。

ホラー/ポップなチップチューン『わたしは多面体』でも、遠征組がコールが飛ばしては会場の空気をリード。一緒に声を上げてと、会場の中には、何時しか日本でお馴染みの光景が広がっていた。みのりほのかの歌声に合わせ、同じように言葉を真似して声を上げる地元の人たちの様を見てみると、宇宙人パワーが中国にもしっかりと浸透したのを実感。

軽快に弾むディスコポップナンバー『ムーンウォーク』でも、会場中の人たちが拍手の合いの手を入れれば、みのりほのかお得意のムーンウォークにもフロアー中の人たちがその様を見て嬉しい歓声を上げていた。終盤にはみんながみのりほのかのソング(みのりほのか+マイケル・ジャクソン)となり、スリラーダンスに興じる彼女の動きを必死に真似ながらも、その場の空気を楽しんでいた。

最後は、『キラキラ☆ギャラクシー』だ。何時しか熱気はフロアーの後ろまで浸透。この会場を銀河空間に塗り変え、みんなでキラキラな歌を浴びながら、笑顔でスペースド・ライブを楽しんでいた。

「萤火虫」2日目となる[12月31日](#)

のライブもまた、1曲目からマイクトラブルに見舞われたみのりほのか。やはり機械は、彼女が地球人ではないことを見抜いてたということか。それに気づいた彼女はバリアーを張りめぐらせ、トラブルを回避。最初のステージでは、『わたしは多面体』や『もしかしてエスパー』など4曲を披露。昨日のライブでみのりほのかの存在にはまった地元の人たちも来場。彼女の歌に合わせ一緒に声を上げたり、振りを真似てと一緒にスペースドライブ(ライブ)を味わい尽くしていた。早くも、みのりほのかのライブスタイルは、現地の人たちにも浸透し始めたようだ。初めてライブに触れた人たちも、彼女の可愛い衝撃に胸を打たれたのか、その後の物販にも列をなしていた。2回目のライブは、イベント会場の中でも2番目に大きなステージで実施。相変わらず1曲目のライブでマイクトラブルが起きたように、中国の機材は宇宙人と判明するのに敏感なようだ。このステージでは、エイリアンシリーズナンバー『宇宙人だ!』と『UF0』を立て続けに披露。「宇宙人だ!」の声は昨日以上に飛び交えば、『UF0』では彼女に向けたくさんの手が伸びていたように、ライブ回数を重ねるごと、みのりほのかに対する興味関心や愛情が深まってゆくことを感じさせられた。

ライブ後は、日本からの遠征組の人たちと一緒に年を越そうとオフ会を開催。新年の幕開けは、ネオンライトきらびやかな広州タワーでファンたちと2019年を迎えたことも報告しておこう。

3日目のライブは、マイクトラブルも…若干ありながらもライブ自体は無事に進行。嬉しい驚きだったのが、日本からの遠征組と地元のファンたちが交流を深め、一緒に声を張り上げ盛り上がっていたこと。『UF0』での「地球の男に飽きたところよ」「俺もー!」のやり取りも広州のファンたちに広がれば、『わたしは多面体』など掛け合い混じりの楽曲でも混成チームたちと盛り上がれば、ノリをまだつかみきれないファンたちも手拍子を返してと、笑顔で彼女のライブを楽しんでいた。何より、初日にみのりほのかのライブに触れ、そのまま3日間全通した広州のファンたちも相応いたことも嬉しい手応え。今回の遠征を通し、中国にもラストア星人化したファンたちが着実に増えてきた。

広州最後のライブは、一番大きなメインステージで実施。ここのステージは終始ネットを通した生中継を行っている場。彼女が出演した時間帯には、なんと40万人が視聴。そこで披露したのが

『もしかしてエスパー』。得意の超能力を駆使しアピールすれば、お馴染みスプーン曲げを披露したところ、客席のあちこちから「オーッ!!」と嬉しいどよめきも発生。みのりほのかの海外侵略の第一歩は、今後芽吹きだすための種をしっかりと植えたようだ。

余談だが、最終日に広州のスタッフチームとお別れ会を行ったのだが、スタッフたちの誰もが「宇宙人だ!」と言いながらエイリアンポーズや、みのりほのかナンバーの振り真似を行っていた。それだけ楽曲や本人のキャラクターのインパクトが強かったということ。みのりほのかの世界侵略、その第一歩となった中国は広州市に、しっかりと爪痕を残したのは間違いないはずだっただっただっだっ!!!!!!

まさに嬉しい手応えばかりをつかみ、マイク以外とくにトラブルもなく無事に帰国の途に着く…はずだったが、最後の最後にトラブルが。2日の早朝に広州を出発へ、香港国際空港へ。最初の出入国管理の場となった深 市での審査は無事に通過。だが、ここからが大変だった。香港へ向かおうと電車の切符を購入し、いざ香港国際空港へ…。出発を待っていた電車へ飛び乗ろうとしたが、無常にもみのりほのかを置いてドアが閉まってしまう。スタッフチームは、次の駅で降りてバスへ乗り換え移動。でも、その行程を知らなかった彼女は、電車の地図を頼りに、4本の路線を乗り継ぎながら2時間かけて香港国際空港へ。ぶじ、スタッフチームと合流。その時点で、チェックインの締め切りまで20分弱。さらに、そこで新たなトラブルが。出発する航空便の出発ターミナルが変更。なんと、搭乗する空港のカウンターが見当たらず、空港内で聞いてもみなさん異なる発言をすることから2つのターミナルを行き来し続けてゆく中、ようやく異なる航空会社から出発することが発覚。その時点で、すでにチェックインはタイムアウト。すかさず、みのりほのかのエスパー能力で時間を巻き戻してもらおうと思ったが、これまでの道中でヘトヘトだった彼女のエスパー能力がエンピティ状態、最後の最後に力を発揮できずに飛行機へ乗り遅れるという自体に。ただし、急いでパワーをチャージ。その3時間後の飛行機を抑え、なんとか帰国することが出来たことも報告しておこう。

今年のみのにほのかだが、[1月6日](#)の3マンからライブをスタート。[1月10日](#)には、SHIBUYA DESEOを舞台に、みのりほのかの楽曲を制作プロデュースしているTEPPANとの2マン公演が控えている。この日は、[1月8日](#)

生まれのみのにほのかの生誕祭も兼任。中国で得た経験がどのように反映されるのか、とても楽しみだ。

TEXT:長澤智典

みのりほのか twitter

https://twitter.com/honoka_minori7

みのりほのか Web

<https://www.hvt-inc.com/minorihonoka/>

SHOWROOM「みのりほのかのCOSMIC TV♪」

https://www.showroom-live.com/minori_honoka

★LIVE情報★

【日時】[2019年1月](#) 10(木)

【タイトル】みのりほのか生誕2MAN LIVE『みのりほのか VS TEPPAN』

【会場】SHIBUYA DESEO

【時間】OPEN 18:30 START 19:00

【出演】みのりほのか/TEPPAN

【料金】前売¥2,500 当日 ¥3,000 ドリンク代別 ¥600

【チケット】アーティスト予約、DESEO電話予約
【入場順】当日並んだ順
問い合わせ→ minorihonoka@hvt-inc.com

★MV★
宇宙人だ

ムーンウォーク

UF0（ピンク・レディー公式カバー）

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>